

赤松農林水産大臣のダボスWTO非公式閣僚会合出席について(概要)

平成22年2月

農林水産省

赤松農林水産大臣は、1月29日(金)から31日(日)までの間、スイス・ダボスに出張し、WTO非公式閣僚会合(30日(土))に出席したところ、概要以下のとおり。

1. 出席者

主催国・スイス(ロイター大統領兼経済大臣)、日本(赤松農林水産大臣、直嶋経済産業大臣)、EU(フェレーロ・ヴァルトナー貿易等担当委員)、ブラジル(アモリン外務大臣)、インド(シャルマ商工大臣)、豪州(クリーン貿易大臣)など計18カ国の閣僚等のほか、ラミーWTO事務局長など。

2. 概要

(1) スイス主催非公式閣僚会合

- 本年3月に行われる予定の「ストックテイキング」(WTOドーハ・ラウンド交渉の進捗状況に関する検証・評価)のあり方や交渉妥結に向けて何が必要かなどについて意見交換。
- 赤松農林水産大臣からは、
 - ・ 事務レベルでの作業が更に必要であり、実質的な議論を着実に深化させることが重要であること、
 - ・ 農業交渉については、「多様な農業の共存」を基本理念として、各国の農業が発展できるような、センシティブティに配慮した貿易ルールづくりが必要であること、
 - ・ 各国が抱える政治的に困難な問題を互いが理解・尊重し合い、解決されるだけの弾力性・柔軟性が示されることが重要であること

等を主張。

- ロイター大統領が、「個人的な総括」として、次のとおり会合の成果を取りまとめ。
 - ・ 保護主義への対抗のためにWTOの果たすべき役割は大きく、また、世界経済の回復に貢献するためにはDDA妥結が重要。
 - ・ DDA妥結のためには政治的意思が極めて重要。首脳レベルの関与も必要との意見もあった。
 - ・ 現在テーブルに載っているものを維持すべきことに合意。
 - ・ 実務的な議論を継続することで、政治レベルで解決すべき論点を絞り込むことが必要。
 - ・ 「ストックテイキング」のあり方については、2月、3月に実務レベルでの作業が必要。
- なお、セッション終了後のワーキング・ランチにおいて、「貿易と気候変動」について意見交換。

(2) 関係国との意見交換

- 会場において、各国の出席閣僚等と意見交換。

<主な閣僚等>

スイス:ロイター大統領兼経済大臣	インド:シャルマ商工大臣
ブラジル:アモリン外務大臣	EU:フェレーロ・ヴァルトナー貿易等担当委員
豪州:クリーン貿易大臣	NZ:グローサー貿易大臣
韓国:キム通商交渉本部長	タイ:ポンラブート商業副大臣
ジャマイカ:フォルテ外務・国際貿易担当大臣	
WTO:ラミー事務局長、ウォーカー農業交渉議長、ヴァイエス・ルール交渉議長、 ワセシャNAMA 交渉議長	

- 特に、クリーン豪州貿易大臣に対し、調査捕鯨の取扱いについて柔軟な対応を求めるとともに、シーシェパードによる妨害活動の再発防止を強く要請。先方より、外交的に解決したい旨応答。

赤松農林水産大臣のダボスWTO非公式閣僚会合出席(日程)

1月30日(土)

9:30~10:15 歓迎カフェ(出席閣僚等との意見交換)

主な閣僚等:

ロイター大統領兼経済大臣(スイス)、シャルマ商工大臣(インド)、アモリン外務大臣(ブラジル)、フェレーロ・ヴァルトナー貿易等担当委員(EU)、グローサー貿易大臣(NZ)、キム通商交渉本部長(韓国)、ラミーWTO事務局長、ウォーカー農業交渉議長、ヴァイエス・ルール交渉議長

10:15~13:00 ワーキング・セッション

ストックテイキングのあり方や、交渉妥結に向けて何が必要かなどについて
意見交換

13:00~13:30 カクテル休憩(出席閣僚等との意見交換)

主な閣僚等:

クリーン貿易大臣(豪州)、フォルテ外務・国際貿易担当大臣(ジャマイカ)、ワセシャNAMA交渉議長

13:30~14:30 ワーキング・ランチ

貿易と気候変動について意見交換

ダボスWTO非公式閣僚会合 出席者

国名	出席者
1. 豪州(ケアンズグループ)	クリーン貿易大臣
2. ブラジル(G20)	アモリン外務大臣
3. ブルキナファソ(C4)	サヌー商務大臣
4. 中国	易(イ)商務部副部長
5. エジプト(アフリカグループ)	ラシード貿易産業大臣
6. EU	フェレーロ・ヴァルトナー貿易等担当委員
7. インド	シヤルマ商工大臣
8. インドネシア(G33)	パンゲツ商業大臣
9. ジャマイカ	フォルテ外務・国際貿易担当大臣
10. 日本	直嶋経済産業大臣
11. 日本	赤松農林水産大臣
12. 韓国	キム通商交渉本部長
13. メキシコ	デ・マテオ在ジュネーブ大使
14. ニュージーランド	グローサー貿易大臣
15. パキスタン	ファヒム商業大臣
16. 南アフリカ(NAMA11)	デイビス貿易産業大臣
17. スイス	ロイター大統領兼経済大臣
18. タイ	ポンラブート商業副大臣
19. 米国	シヤーク在ジュネーブ大使代行
20. WTO(一般理議長)	マチュス一般理事会議長
21. WTO(事務局長)	ラミー事務局長

今後の国際関係日程

平成22年

1月

30

WTO非公式閣僚会合（スイス、ダボス）

2月

25～26

OECD農業大臣会合（フランス、パリ）

3月

末頃

WTO「ストックテイキング」会合

5月

27～28

OECD閣僚理事会（フランス、パリ）

※ 本会議に併せ、WTO非公式閣僚会合の開催が通例

6月

25～26

G8サミット（カナダ、ムスコカ）

26～27

G20サミット（カナダ、トロント）

10月

16～17

APEC食料安全保障担当大臣会合（新潟）

11月

13～14

APEC首脳会議（横浜）